

日本社会教育学会プロジェクト研究「社会教育士養成の可能性と課題」研究会

「社会教育主事」をめぐる課題の再定義と新たな期待

- 今後の社会教育士との相互作用を見据えた行政現場の実践経験からの示唆 -

1. 開催趣旨

「社会教育士」称号制度が始まる一方で、従来からの社会教育主事にはどのような役割・期待が求められているのだろうか。

これまでの行政や実践現場での社会教育主事の役割や運用にかかわる実務経験をもとに、新カリキュラム導入に伴う懸念と課題、可能性と展望について、多様な広がりを持つ地域の最新状況を踏まえた現場目線からのお話をお聞きます。

今後の社会教育主事と社会教育士の相互関係を見据えつつ、市民の学習活動に資する新たな社会教育の構築に向けた研究・教育・実践のあり方について理解を深めます。

2. 日時 2021年5月23日（日）19：30～21：00

オンライン開催

3. 講師 沢田繁（上越地区社会教育主事会 会長）

4. プログラム 司会：平井康章

開会（赤尾勝己）5分

開催趣旨説明（村田晶子）10分

基調講演（講師：沢田繁）50分

フリーディスカッション（ファシリテーター：高井正）50分

閉会（村田晶子）5分

5. 主催

日本社会教育学会プロジェクト研究「社会教育士養成の可能性と課題」

6. 申込 以下フォームに5月20日（木）までにご入力ください。

<https://forms.gle/12MT2YJzHx87rKLY7>

7. 問い合わせ

プロジェクト研究連絡担当 渋江かさね（shibue.kasane@shizuoka.ac.jp）

※「◎」を「@」に変えて送信ください。

備考：沢田氏基調講演の予定概要

≪基調提起の項目≫

- ①当市、当地域の紹介（市町村合併）
- ②上越地区社会教育主事会の紹介
 - 会員数（内訳）
 - 活動内容 総会、研修会
 - 県内他地域の状況
- ③当市、当地域、県内の発令状況
 - 公民館のコミセン化の状況なども踏まえて
- ④これまでの社会教育主事の活躍実践例
 - 市民連携行政の中核担い手育成への入り口としての社会教育主事
 - 地域学校協働活動の学校と地域のつなぎ役としての社会教育主事
 - 当市の青少年育成会議の取り組みの中で
- ⑤社会教育主事をめぐる課題
 - 社会教育主事の専門性、行政の中での期待（下記課題の前提・背景ともなる）
 - 主事講習にかかる課題 参加経費予算の確保、参加させる職員の選出
 - 発令にかかる課題 発令の有無、発令数、在任年数
 - 社会教育主事会の位置付け
 - 教育公務員特例法で規定する任命権者が実施する研修に代わる研修と主体的な力量形成の場
- ⑥社会教育主事と社会教育士への関係性・相互作用
 - 母体となる社会教育・公民館の在り様
 - 現役社会教育主事の力量形成と専門性のさらなる向上
 - 行政現場での社会教育主事の資質・力量の認知と社会教育士の活用一方策

参考：6月集会に向けた当研究会の主な論点・キーワード（想定案）

6月集会において新設科目の検討を行うにあたり、従来からの社会教育主事の役割期待について見つめ直しつつ、新たな状況における懸念、課題、期待と展望を整理する。

- (1) 社会教育主事への新たな期待を見据えて
 - 社会教育士創設の中で、文科省・自治体の考え・思惑とは（問題意識の提起）
- (2) これまでの社会教育主事の活躍実態例
 - 市民連携行政の中核担い手育成への入り口としての社会教育主事
 - 地域学校協働活動の学校と地域のつなぎ役としての社会教育主事
- (3) 社会教育主事と社会教育士の関係性と相互作用
 - 実践現場では両者の関係性をどう捉えられるか、懸念・課題、期待・展望
 - 今後の新たな社会教育人材養成への研究・教育・実践の協働のあり様の展望